

おしえて

～地域の、みんなの課題を、自分たちで解決！～



# 地域自治区・地域協議会

今年4月は、地域協議会委員の任期が満了し、改選が行われます。地域自治区や地域協議会について、より多くの皆さんに知っていただき、関心を寄せてもらえるよう、シリーズで紹介します。

■問合せ…自治・地域振興課 (☎025-526-5111、内線1429)



どのようにして、地域の課題を解決しているの。

よく知っているね。ここでは、「地域の課題を、自分たちで解決する」ことになるね。私たちの身の周りでは、さまざまな「自治」が行われていて、子どもの見守りや、ごみ集積所の管理などもそうだよ。



「自分のことを自分で解決すること」だよ。



文字どおり、「地域の自治」を推進するためだよ。「自治」の意味は分かるかな？



何のためにあるの。

「地域自治区」だよ。平成17年の市町村合併を機に、合併前の町村の区域に初めて設置し、平成21年には合併前上越市の区域にも設置して現在は28の地域自治区があるんだ。



上越市には、地域を示すときに「○○区」という呼び方があるけど、これって何なの。



うれしいな。それでは、柿崎区地域協議会の小出会長に話を聞いてみよう。



どんな活動をしているのか興味が出てきたよ。もっと詳しく教えて。



話し合いを充実させるために自主的に研修会や視察なども行い、勉強しているよ。



課題を解決するために話し合うつて、なんだか素敵だね。



地域の課題を見つけてより良い解決策を話し合っているよ。検討した内容は、地域の活動につなげたり、地域で解決できない問題を市に意見として提出したりしているんだ。



地域協議会は、どんな活動をしているの。



地域自治区には、「地域協議会」という組織があって、年齢や性別などが異なるさまざまな立場の人が話し合いをしているんだよ。

## ■地域協議会の取り組み事例

地区	内容
三郷区	市の介護予防事業を受託する団体が無かったため地元団体と協議し、担い手組織の発足につなげた。
浦川原区	中学生と共同で、地域の文化、歴史、産業などを紹介する魅力マップを作成した。
板倉区	保護者らと、小学校の複式学級の解消について意見交換を行った。

## ■地域協議会を中心としたイメージ図

